

meito

東証プライム市場・名証プレミアム市場
証券コード：2207

決算説明資料

株式会社meito

2026年5月27日



meito

目次

CONTENTS

- 01** | 2026年3月期 決算概要 ▶ P. 2
- 02** | 2027年3月期 業績予想 ▶ P.11
- 03** | 中期経営計画進捗状況 ▶ P.15
- 04** | 次期中期経営計画
財務方針について ▶ P.30
- 05** | Appendix ▶ P.32

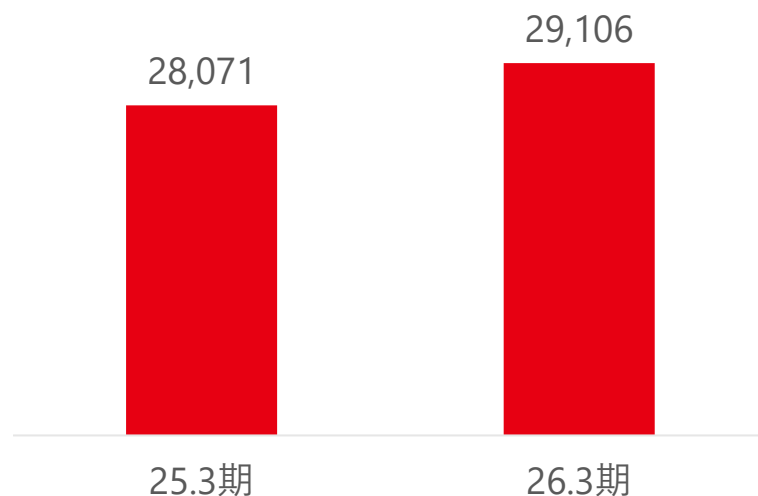
01

2026年3月期
決算概要

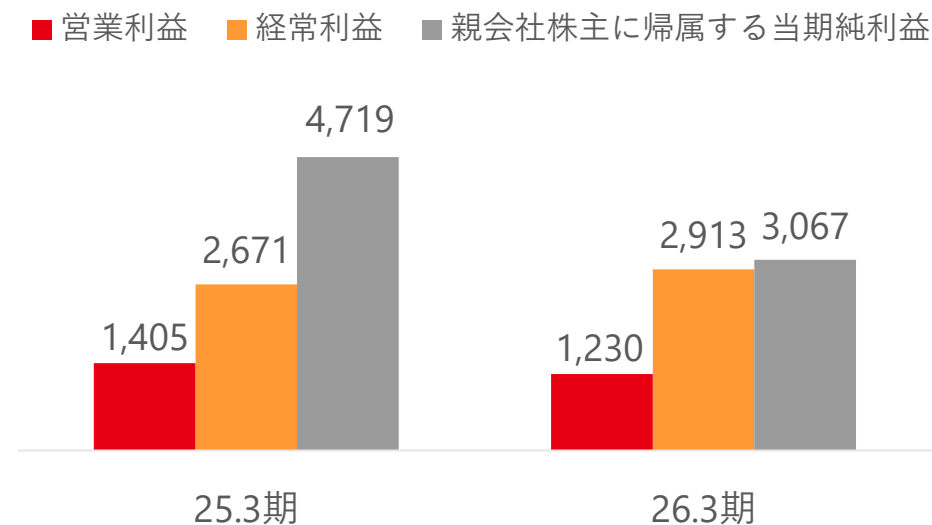
- 売上高 : 前連結会計年度比3.7%増の29,106百万円
- 営業利益 : 売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定により売上原価率が改善するも、創立80周年記念事業の一環として実施した各種プロモーション費用や棚卸資産の評価損を計上した結果、12.5%減の1,230百万円
- 経常利益 : 営業利益は減益となった一方で、受取配当金や投資有価証券売却益の増加により、9.0%増の2,913百万円
- 当期純利益* : 投資有価証券売却益1,449百万円などを特別利益に計上したものの、35.0%減の3,067百万円
(前連結会計年度は特別利益に投資有価証券売却益3,363百万円などを計上)

*親会社株主に帰属する当期純利益

売上高 (単位：百万円)



利益 (単位：百万円)



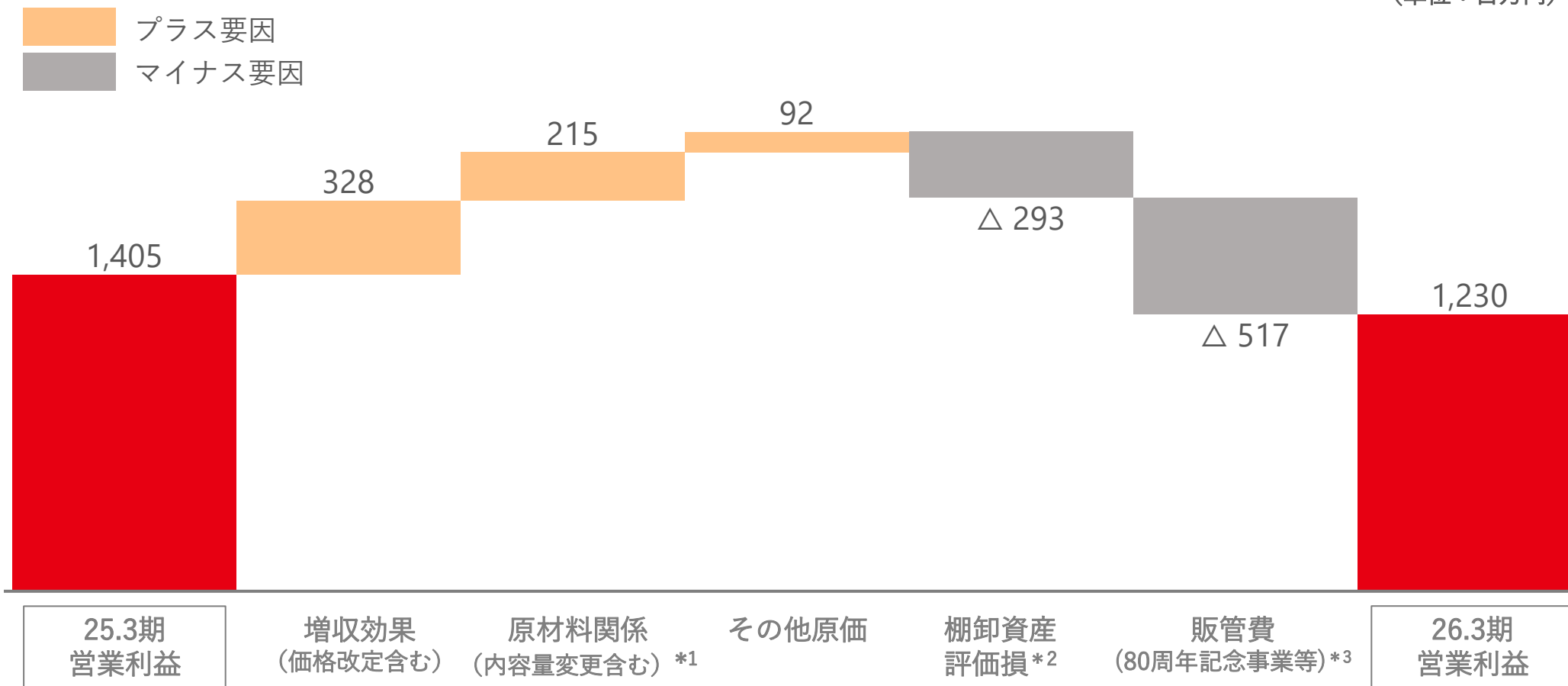
(単位：百万円)

	25.3期	26.3期		
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	28,071	29,106	1,035	3.7%
食品事業	24,405	25,166	760	3.1%
化成品事業	3,389	3,546	157	4.6%
不動産事業	276	393	117	42.3%
売上総利益	7,985	8,468	483	6.1%
売上総利益率	28.4%	29.1%	—	—
販売管理費	6,579	7,238	658	10.0%
営業利益	1,405	1,230	△ 175	△12.5%
営業利益率	5.0%	4.2%	—	—
受取配当金	1,167	1,406	239	20.5%
経常利益	2,671	2,913	241	9.0%
経常利益率	9.5%	10.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,719	3,067	△ 1,651	△35.0%
当期純利益率	16.8%	10.5%	—	—
EPS	278.83円	183.21円	—	—

営業利益増減分析（前期比）

- 増収効果や内容量変更による利益改善といったプラス要因があったものの、棚卸資産の評価損や80周年記念事業関連のプロモーション費用の計上といったマイナス要因が上回り、減益

（単位：百万円）



*1. 原材料価格の高騰に対して、一部商品の内容量変更を実施したことによる利益改善

*2. これまで高騰していた主原料の相場が急激に下落したことに伴い棚卸資産の評価損を計上

*3. 80周年記念事業の一環として、ブランド認知度向上を目的とした企業CMなどの各種プロモーション費用を計上

セグメント別業績

- 3事業合計のセグメント利益は前連結会計年度から337百万円増加
一方、各セグメントに帰属しない一般管理費が、80周年記念事業に係るプロモーションの実施により増加した結果、営業利益は減益となった

(単位：百万円)

売上高	25.3期		26.3期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	24,405	86.9%	25,166	760	3.1%	86.5%
化成品事業	3,389	12.1%	3,546	157	4.6%	12.2%
不動産事業	276	1.0%	393	117	42.3%	1.3%
合計	28,071	100.0%	29,106	1,035	3.7%	100.0%

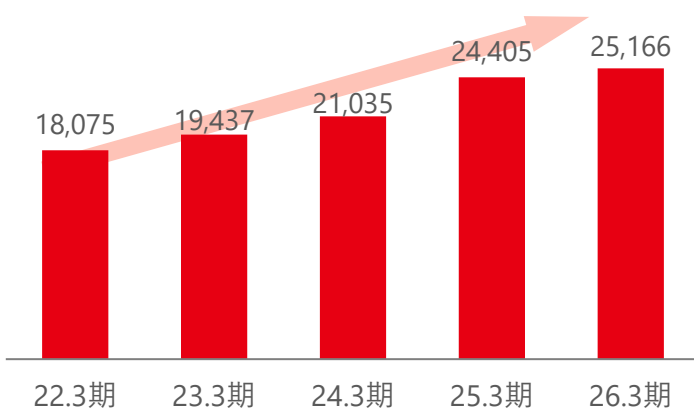
セグメント利益	25.3期		26.3期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	1,477	61.3%	1,739	262	17.8%	63.3%
化成品事業	837	34.8%	808	△ 29	△3.5%	29.5%
不動産事業	94	3.9%	198	104	110.3%	7.2%
セグメント利益	2,409	100.0%	2,746	337	14.0%	100.0%
調整額（一般管理費）	△ 1,003	-	△ 1,516	-	-	-
営業利益	1,405	-	1,230	△ 175	△12.5%	-

3.1%増収、17.8%増益

- 食品事業は、粉末飲料部門が伸長したことにより増収
セグメント利益は、期末にて棚卸資産の評価損を計上するも、過年度より数回にわたって実施した商品の内容量変更・価格改定の効果により増益
- 菓子部門は、前連結会計年度を上回る売上を確保
 - ・チョコレート類は、前連結会計年度と同水準の売上を維持
 - ・子会社の株式会社エースベーカリーは、「凍らせて食べるシャーベット」などのゼリー類が好調に推移し増収
- 粉末飲料部門は、ココア類の売上が拡大し増収
- 冷菓部門は、若干の増収

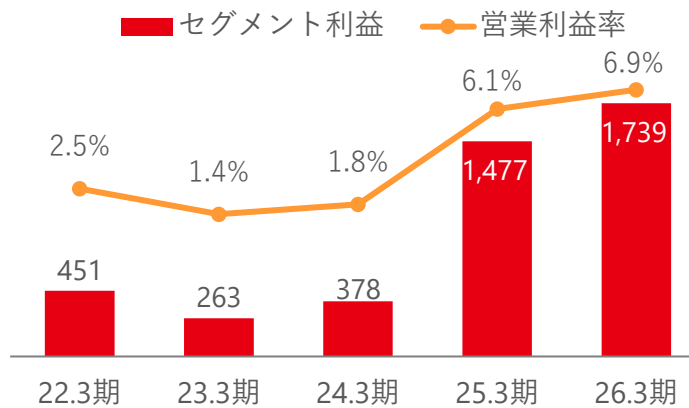
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



売上詳細

(単位：百万円)

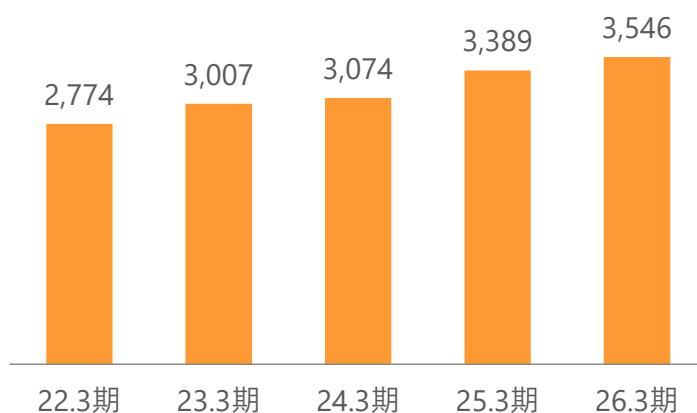
	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
菓子部門	13,477	14,461	15,737	18,805	18,949
粉末飲料部門	2,642	2,691	2,838	2,864	3,245
冷菓部門	1,657	1,956	2,097	2,308	2,319
その他	298	327	360	427	651
合計	18,075	19,437	21,035	24,405	25,166

4.6%増収、3.5%減益

- 化成品事業は、海外市場を中心に積極的な営業活動の推進により増収。セグメント利益は、売上原価率の上昇により減益
- 酵素部門では、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は海外市場にて大きく売上を伸ばし増収。脂肪分解酵素「リパーゼ」は前連結会計年度並みの売上
- 薬品部門は、医療機器原料等で使用される「デキストラン硫酸」が売上を落とし減収

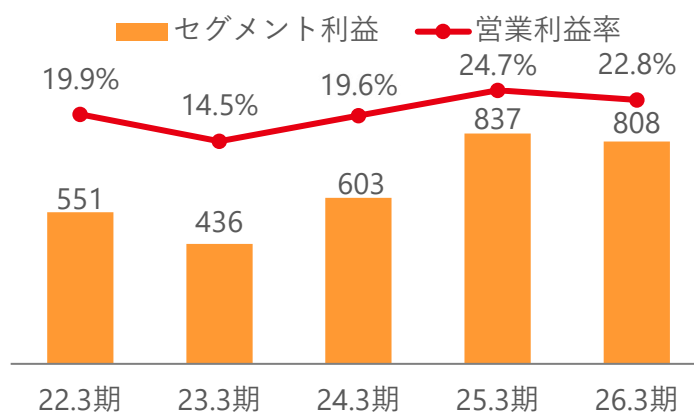
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



売上詳細

(単位：百万円)

	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
酵素部門	1,609	1,762	1,749	1,873	2,057
薬品部門	974	1,056	1,137	1,316	1,278
その他	190	188	187	199	210
合計	2,774	3,007	3,074	3,389	3,546
海外売上	1,590	1,969	1,934	2,220	2,364

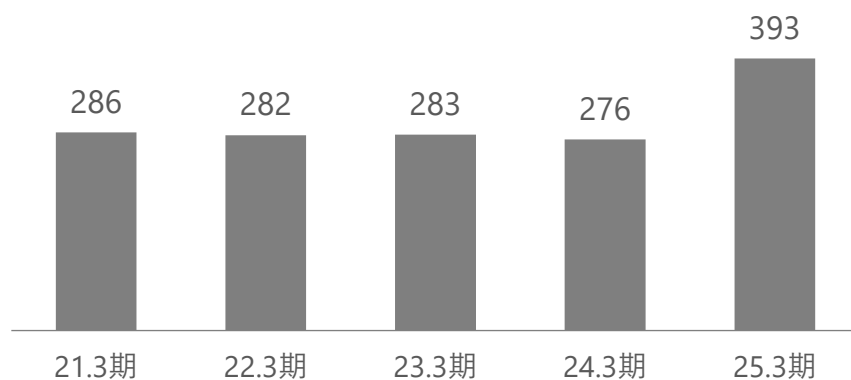
セグメント別業績 不動産事業（ゴルフ場・不動産賃貸）

42.3%増収、110.3%増益

- 2025年9月に東京都の不動産を取得し、賃貸を開始したことにより、増収増益

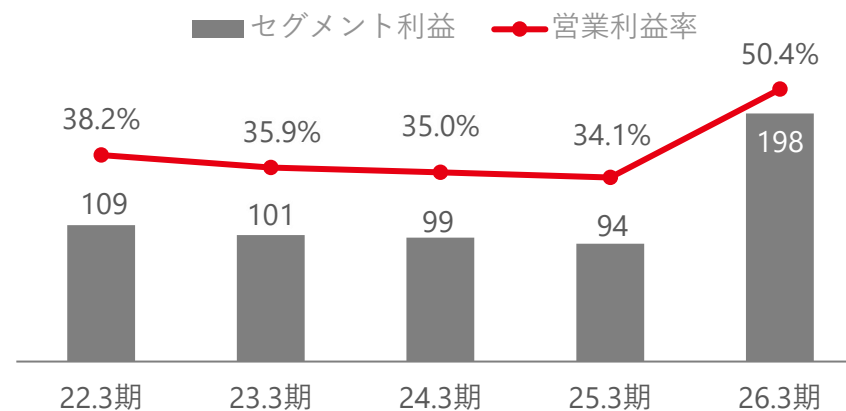
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書



貸借対照表

(単位：百万円)

	25.3期末	26.3期末	
	実績	実績	増減額
流動資産	17,395	16,071	△ 1,324
現預金	7,194	3,575	△ 3,618
受取手形及び売掛金	5,546	5,468	△ 77
商品及び製品	1,915	2,528	613
原材料及び貯蔵品	1,785	2,650	864
固定資産	65,929	84,247	18,318
有形固定資産	20,249	30,088	9,838 *1
投資有価証券	43,064	51,733	8,669 *2
流動負債	8,838	9,376	538
支払手形及び買掛金	2,882	2,304	△ 577
短期借入金	—	1,850	1,850 *1
長期（1年以内）借入金	796	1,383	586
未払法人税等	1,346	93	△ 1,252
固定負債	19,574	28,778	9,204
長期借入金	8,342	14,454	6,112 *1
繰延税金負債	8,410	11,485	3,074
純資産	54,912	62,164	7,251
負債純資産	83,325	100,319	16,994

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	25.3期	26.3期	
	実績	実績	増減額
営業CF	4,236	△ 708	△ 4,945
投資CF	960	△ 9,296	△ 10,257 *1
財務CF	△ 4,365	6,387	10,753 *1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	831	△ 3,618	△ 4,450
期首残高	6,362	7,194	831
期末残高	7,194	3,575	△ 3,618

*1. 不動産事業等にて土地を取得。また、新工場の建設により建設仮勘定が増加。設備投資の支払により借入を実施

*2. 保有する株式の株価の上昇

02

2027年3月期
業績予想

2027年3月期業績予想



(単位：百万円)

	26.3期	27.3期		
	実績	予想	増減額	増減比
売上高	29,106	30,500	1,393	4.8%
営業利益	1,230	1,800	569	46.3%
営業利益率	4.2%	5.9%		
経常利益	2,913	3,000	86	3.0%
経常利益率	10.0%	9.8%		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,067	2,100	△967	△31.6%
当期純利益率	10.5%	6.9%		
EPS（1株当たり当期純利益）	183.21円	128.81円	—	—
一株配当	55円	80円	—	—
配当性向	30.0%	62.1%	—	—

2027年3月期セグメント別業績予想



(単位：百万円)

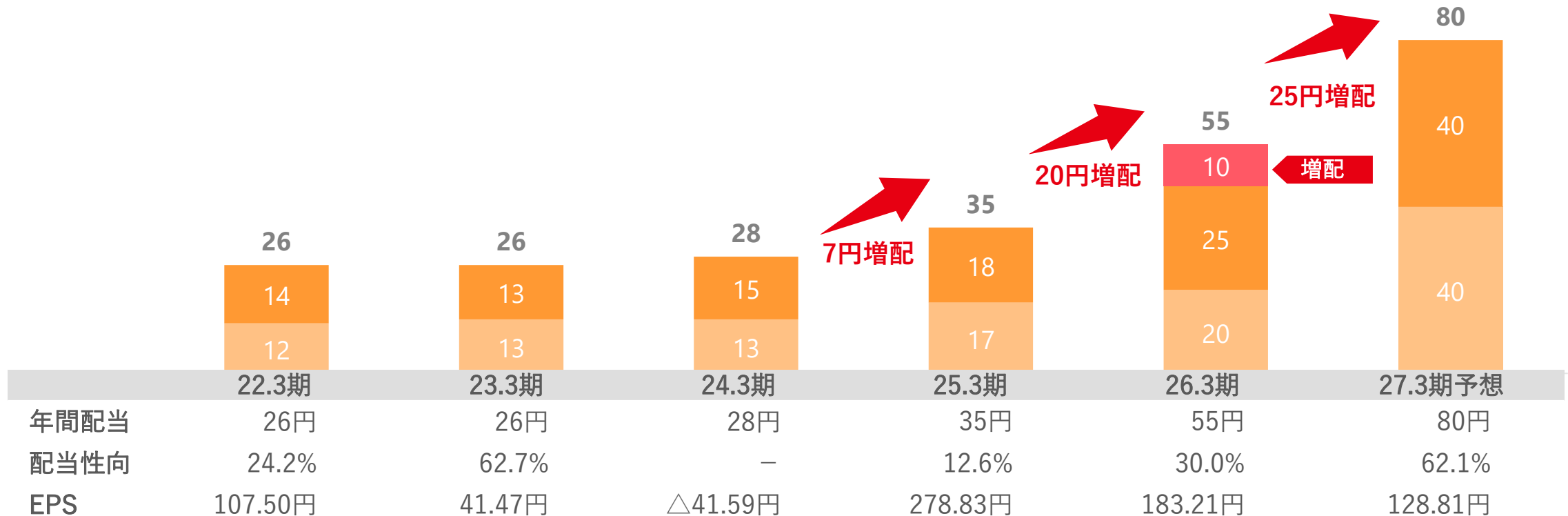
売上高	26.3期		27.3期			
	実績	構成比	予想	増減額	増減比	構成比
食品事業	25,166	86.5%	26,400	1,233	4.9%	86.6%
化成品事業	3,546	12.2%	3,600	53	1.5%	11.8%
不動産事業	393	1.3%	500	106	27.0%	1.6%
合計	29,106	100.0%	30,500	1,393	4.8%	100.0%

配当金額の推移

- 期末配当金は従来（25.10月）予想から10円増配し1株当たり35円
- 年間配当金は、中間配当20円と合わせて55円を予定
- 27.3月期年間配当金は、前年より25円増配の80円を予定

1株当たり配当金及び配当性向の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 増配



03

中期経営計画 進捗状況

MEITO CHALLENGE 2026

スローガン

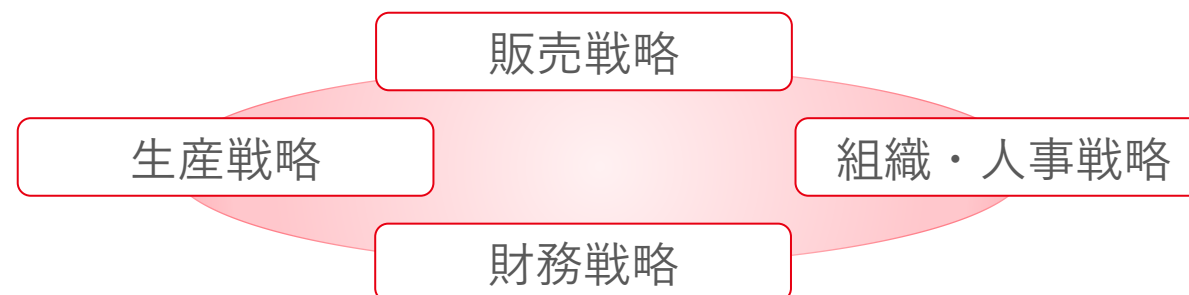
Challenge for the future

未来を創造する挑戦

コンセプト

- 持続的な成長に資するバックキャスト思考
- 事業ポートフォリオの最適化に向けた戦略の推進
- 人的資本、資本コスト・株価を意識した経営の強化

成長戦略



中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2026」—経営目標



- 2026年3月期は、売上高・利益ともに概ね計画に沿って推移
- 一方、PBRは経営目標達成に向け、ROEもさらなる資本効率の実現に向け、なお一層の施策を推進する

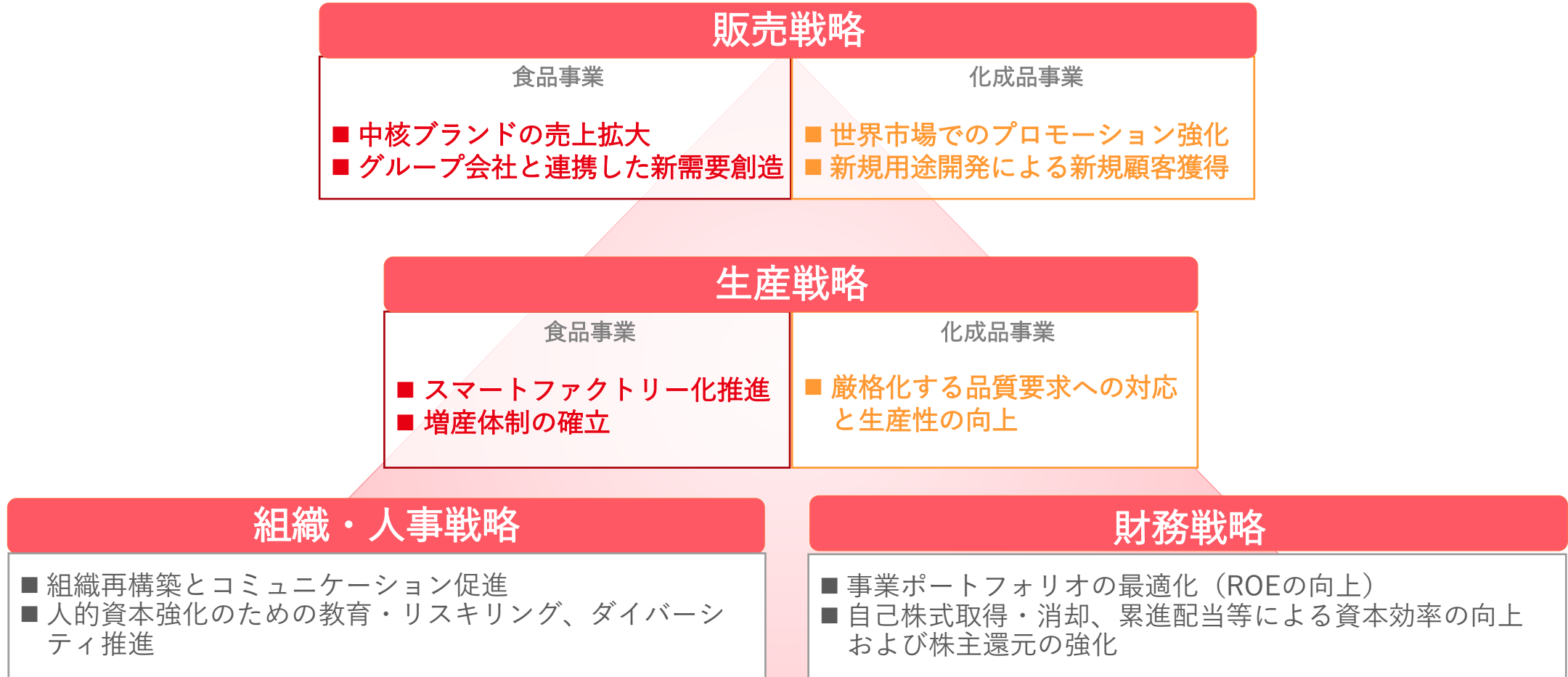
27.3期経営目標

売上高 300億円	営業利益 18.0億円	経常利益 30.0億円	ROE 5.0%以上	PBR 1.0倍
---------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------

26.3期実績

	MC 2023		MEITO CHALLENGE 2026			
	24.3期	25.3期	26.3期		27.3期	
	実績	実績	計画 (2024年5月公表)	実績	前期比	計画 (2024年5月公表)
売上高	244億円	280億円	290億円	291億円	+3.7%	300億円
営業利益	2.3億円	14.0億円	13.0億円	12.3億円	△12.57%	18.0億円
経常利益	14.3億円	26.7億円	25.0億円	29.1億円	+9.0%	30.0億円
ROE	△1.5%	8.9%	—	5.2%	—	5.0%以上
PBR	0.6倍	0.6倍	—	0.8倍	—	1.0倍

■ 経営目標達成を目指し、4つの成長戦略に取り組む



成長戦略

販売戦略

食品事業

- 中核ブランドへの戦略的な経営資源投入による売上拡大
- グループ会社間のシナジー強化を含む新需要の創造

化成品事業

- 高付加価値製品の世界市場でのプロモーション強化（グローバルニッチトップの維持）
- 新規用途開発による新規顧客獲得

生産戦略

食品事業

- 安全・品質・生産の向上に直結するDX化（スマートファクトリー化）
- 設備投資・増員及び予知予防保全による増産体制の確立

化成品事業

- 製造技術・プロセスの最適化及び設備増強、増員による厳格化する品質要求への対応と生産性の向上

組織戦略

- 組織力向上のための組織再構築、コミュニケーション促進（課題解決プロジェクト発足、グループ会社間交流）
- 人的資本強化のための教育・リスクリングの充実（拡充）及びダイバーシティ推進

財務戦略

- 経営資源の再配分による事業ポートフォリオの最適化（ROEの向上）
- 自己株式取得・消却、累進配当等による資本効率の向上および株主還元強化

2026年3月期進捗状況

食品事業

- 中核ブランド認知度向上、売上拡大を目的として、テレビCM、ラジオCM、SNS広告、プレゼントキャンペーンを実施
- アルファベットチョコレート認知度向上等を目的としたPOPUPイベントの開催
- 中核ブランドの強化に向けた新フレーバー商品の展開

化成品事業

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- 化粧品用途でのリパーゼ、デキストラン誘導体のプロモーションのため、第16回化粧品開発展東京2026展示会（東京ビックサイト）に出展

食品事業

- 生産統合工程システム設計が進行。一部分析ツール等の利用を開始。
- キャンディ製袋ライン、アイス包装ライン等、増産および生産性向上に資する設備投資

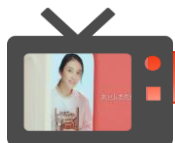
化成品事業

- デキストラン硫酸ナトリウム新工場建設中（27.1月完成予定）
- 名古屋研究所、枇杷島工場の品質マネジメント規格：ISO9001認証取得準備
- 八王子工場、東京研究所における酵素製品の生産性向上（MRS,MRS-LPの化学処理条件の最適化）

- 子会社と協業したメニュー開発や共同運営によるPOPUPイベントを開催
- 人権ダイバーシティ分科会において、社内SNSを利用した各部署情報発信企画を開始

- 株主構成の最適化と政策保有株式縮減を目的とした株式売出しを実施
- 資本効率の改善、株主還元の強化を目的として、財務戦略修正を発表

■ CMやSNSを活用したプロモーションを積極的に展開、ブランド認知度向上・売上拡大を推進



テレビCM

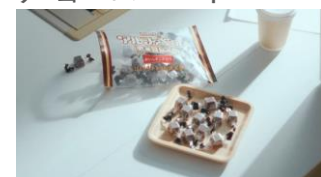
5月～
ぷくぷくたい



10月～
ナッツコレクション



11月～
アルファベット
チョコレート



SNS



ブランド商品のラインナップ拡充

8月～

ぷくぷくたい
やきいも



アルファベット
チョコレート
安納芋



9月～

アルファベット
チョコレート
ビッグパック



1月

スティックメイト
レイボスティー



アルファベット
チョコレート
抹茶ラテ



3月～

ぷくぷくたい
プリン味



定番導入を狙う

KPI：主力4ブランド
定番導入店舗増加率
(社内調査)

アルファベット チョコレート	14.6%増
ぷくぷくたい	14.8%増
レモンティー	0.6%増
スティック メイト	17.0%増

創立80周年記念事業の一環として、ブランド認知度向上を目的とした各種プロモーションを展開

企業プロモーションの実施

アルファベットチョコの新たな魅力を発信する
ポップアップイベントを開催（東京・名古屋・大阪・福岡）

目標

「9月1日の社名変更を機とした企業ブランドおよびアルファベットブランドの認知度向上」

テレビCM

3種類のテレビCMを全国エリアで出稿



- テレビCM①30秒CM 「総合編」
- テレビCM②15秒CM 「総合編」
- テレビCM③15秒CM 「食品編（アルファベットチョコ編）」

デジタル広告

テレビCMと同じ素材を若年層向けに併用
(YouTube、TVerなど)

リアル広告

駅や電車内、バス停等の交通広告で相乗効果を図る
(東京・名古屋・大阪・福岡)

- シティスケープ：バス停
- ビジョン広告：車内ビジョン、駅サイネージ、屋外大型ビジョン等



シティスケープ
イメージ



ビジョン広告イメージ

限定商品と特別企画（例）

- 13種類の限定フレーバー
「iのあるアルファベットチョコレート」
- 世界に一つの“言葉のギフト”
「アルファベットチョコレター」
- 生活の中にアルチョコ（グッズ関連）



エリア	期間	施設
東京	2025年11月29日～12月7日	渋谷キャスト
福岡	2025年12月13日～21日	キャナルシティ
大阪	2026年1月10日～18日	近鉄百貨店HOOP
名古屋	2026年1月31日～2月8日	JRゲートタワー

成果

- ✓ 来場者約3万人、SNS動員1万5千人
- ✓ 限定フレーバーやグッズ、チョコレターの売れ行きが好調
- ✓ 来場者の約半数は20代、若年接点の創出に寄与



iのあるアルファベット
チョコレート

春夏ラインナップ

菓子部門

チョコレート

アルファベットチョコレート
抹茶ラテ



世界的に抹茶人気が高まるなか、
インバウンド向けにも訴求

浮世絵風イラスト

フレーバー名は英語併記

ぷくぷくたい
プリン味



中身のチョコは
プリンに見立てた二層仕立て

冷菓部門

チョコっと果実
シャインマスカット



シャインマス
カット果汁入り
のジェラートを
ホワイトチョコ
でコーティング

もっちりぷるぷる
フルーツバー (パイン)



ジューシーな果
汁感に加え、温
度変化とともに
異なる食感が楽
しめる

粉末飲料部門

アクアメイト



塩分、クエン酸、
ビタミンC、カリ
ウムを配合

お好きな濃さで調整できる水分
補給飲料。スポーツドリンク味。

熱中症対策への意識の
高まりを受けて開発

春夏ラインナップ

エースベーカリー

凍らせて食べるシャーベット

塩シャーベット
ゼリー



国産果汁の
シャーベット

凍らせて食べる
シャーベット



シャーベット
ソーダアソート



焼き菓子

手焼きバウム
ソルティバニラ



柑橘チーズ
パウンドケーキ



2027年稼働予定のゼリー新工場の状況

- 生産性の大幅な向上を見込む設備の選定・確認を進めている
- 稼働後はNB商品の増産に加え、PB、OEMの受託生産を強化し、売上増を見込む



完成イメージ図

所在地	愛知県春日井市
建物概要	延床面積7,849㎡、鉄骨造2階建
稼働予定	27年1月以降

おいもや

母の日ギフトを展開



フラワーフレームやフォトフレームなどに苺バームクーヘンを組み合わせたギフトセットをECで展開

化成品事業

デキストラン誘導体の化粧品用途への展開

取組み

- 創傷治癒・抗炎症作用・鎮静効果・バリア機能向上などが期待され、過去の医薬品軟膏有効成分としての採用実績や、欧州の大手ダーマコスメ（皮膚科学化粧品）企業の主力ブランドでの長年採用実績を持つデキストラン硫酸ナトリウム（DST-H）を中心に、敏感肌やエイジングケアコスメ市場でのプロモーションを強化
- 第16回化粧品開発展
東京2026展示会
（東京ビッグサイト）に出展



成果

- 国内大手製薬会社にてスキンケア用途のデキストラン誘導体製品の採用
- 国内大手製薬会社、化粧品会社にて頭皮ケア美容液にデキストラン誘導体製品の採用

世界市場へのプロモーション強化

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- 脂肪分解酵素リパーゼOFのアプリケーション開発継続

カカオ豆相場は下落基調

- 数年来の価格高騰で各国でチョコレート価格が上昇したため需要が後退している。一方で、カカオの生育状況が比較的良好であることから一転して供給優位に転じている



- 販売施策の強化、配合の工夫により在庫の早期解消を図る
- 中東情勢の影響で今後の包材価格に不透明感

- 当社においては、供給不安に備えてカカオ原料を前倒しで調達していたことなどにより、一部原料について相場下落前に購入した在庫を保有しており、相場下落が製品原価に反映されるまでには一定の時間を要する見込み
- 販売施策の強化、配合の工夫により、在庫を早期に解消し収益性改善の前倒しをはかる
- 中東情勢の影響等により、包材に使用されるナフサ由来の原料価格の先行きに不透明感が高まっている

今後の原材料価格、調達環境を注視

販売戦略

食品事業

- 全国主要都市（東京、名古屋、大阪、福岡）で開催したPOPUPイベントを通じて得たノウハウを活かし、常設店（アンテナショップ、コンセプトショップ）運営を検討
- 企業およびブランド認知度向上に向けた各種広告施策の展開
- 中核ブランド強化に向けた主力商品の展開強化（アルファベットチョコレート、ぷくぷくたい、スティックメイト）
- アルファベットチョコレート認知度向上に向け、引き続きポップアップイベントを開催

化成品事業

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続
- 化粧品用途での展示会出展
- DM拡販のための顧客サポート

生産戦略

食品事業

- 生産統合工程システムを本格稼働させ、業務効率化を図り工数削減を目指す
- チョコレートで使用する天然アーモンドホールのAI識別自動選別機の導入を検討
- 瀬戸・名古屋・小牧・福岡各工場にて生産増・生産性向上に向けた設備投資を実施

化成品事業

- 枇杷島工場DS第二工場の建設（27年1月完成予定、3月試運転、6月生産開始）
- 名古屋研究所、枇杷島工場の品質マネジメント規格：ISO9001認証取得
- リパーゼ増産体制確立に向けたプロジェクト推進

組織戦略

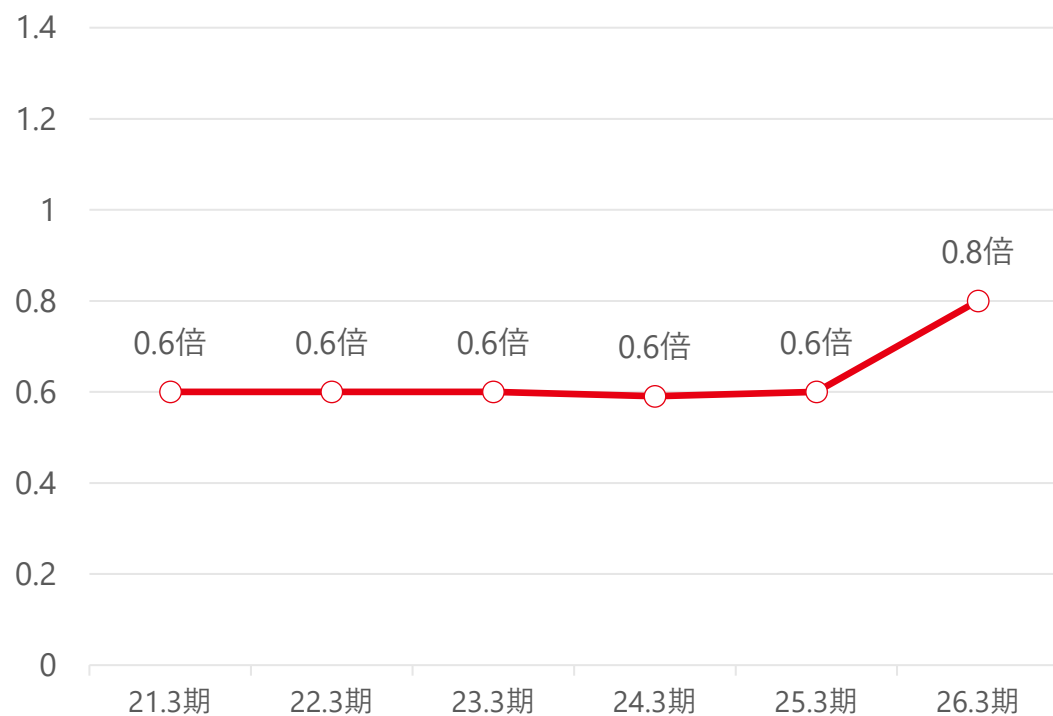
- 「ライフステージ支援型福利厚生」を導入する。成長支援・自己啓発など人的資本投資の強化、多様なライフステージ（育児・介護・子女教育など）への支援強化を充実させる。
- グループ内連携強化と知見共有促進を目的として、グループ各社の同一部門・同一機能間による情報交換会の定期開催を検討する

財務戦略

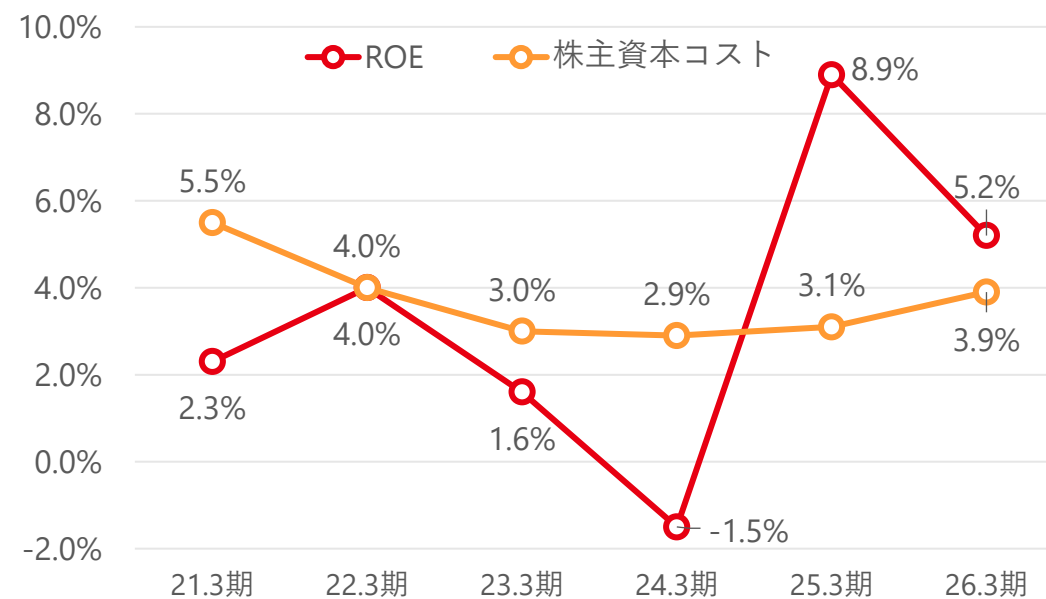
- 本中期経営計画における配当金に関する経営指標（KPI）について、2027年3月期の1株当たり年間配当金は、見直し前の60円から20円を増配し、合計80円に修正
- 自己株式の取得および消却について、本中期経営計画の期間中に総額20億円から15億円を増額し、総額35億円に変更。総額約15億円を実施済みであることから、2027年3月期までに残り約20億円を実施予定
- 保有株式の売却を加速

■ 重点施策①収益力の向上と資本効率の改善、②継続的かつ安定的な株主還元

PBR推移



ROEと株主資本コスト比較



本中期経営計画の【財務戦略】に基づく取り組みの見直し



■ 27/3期において、株主還元の拡充に加え、保有株式の売却を実施する

※総額約33億円規模の株主還元を計画



さらなる資本効率の改善と株主価値の向上

配当政策（配当金に関する経営指標KPI）

- 27/3期の1株あたり年間配当金は、見直し前の計画値である60円から20円増配し、合計80円とする

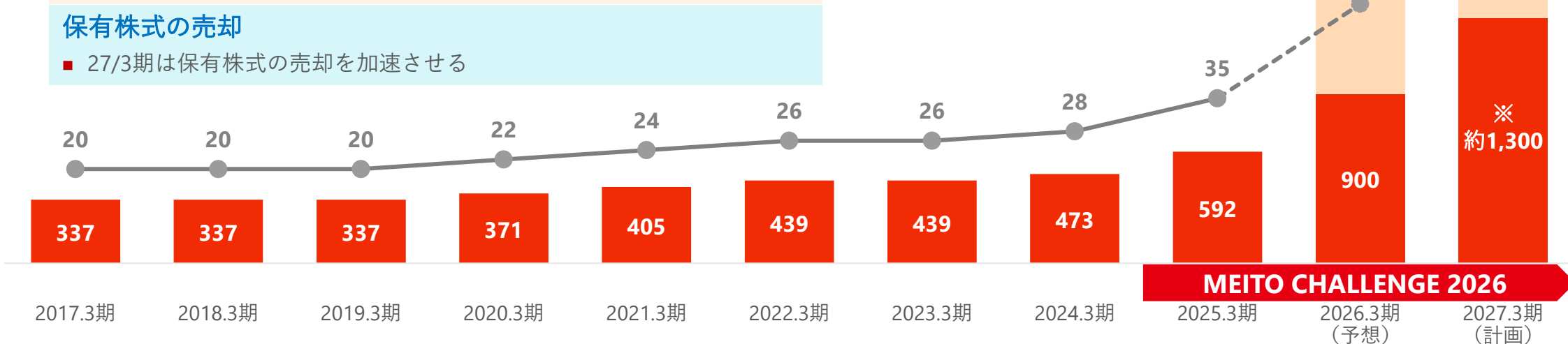
自己株式取得・消却

- 従来の計画（本中計期間中総額20億円）から増額し、総額35億円とする
- 26/3期までに約15億円実施済のため、27/3期は残り約20億円の自己株式の取得および消却を実施する

保有株式の売却

- 27/3期は保有株式の売却を加速させる

■ 配当総額（百万円）
 ■ 自己株式の取得（百万円）
 ● 1株当たり普通配当金（円）



MEITO CHALLENGE 2026

※自己株式の取得状況により変動します

- 保有株式の売却によって得られた資金は、営業CFの創出などとあわせて成長投資、経営基盤の強化、株主還元に充当していく

中期経営計画期間における
キャッシュアロケーション

Cash In



Cash Out



資産活用・資金調達

- 保有株式の売却実績
これまでの中計期間の2年間で保有株式59億円の売却を実施
- 27/3期の保有株式売却方針
保有株式の売却を加速させ、資産の効率的な活用を促進
- 資金調達手段
上記の他に、営業キャッシュ・フローの創出などを図る

成長投資（既に決定している投資案件）

食品事業

- ゼリー工場建設：77億円

「凍らせて食べるシャーベット」等の増産に向け、子会社エースベーカリーのゼリー工場を新設（土地取得を含む）

化成品事業

- 枇杷島工場建設：38億円

化成品事業の主力製品のひとつである「デキストラン硫酸ナトリウム」の増産に向け工場を新設（既存工場敷地内）

不動産事業

- 賃貸用不動産の取得：62億円

東京都に土地を取得し、賃貸開始

基盤強化

- 設備投資、経営基盤投資：3年合計で約60億円

株主還元

- 上限35億円の自己株式を取得・消却
- 累進配当の実施（3年合計で約28億円）

2025年3月期 35円、2026年3月期（予想）55円、2027年3月期（計画）80円

04

次期中期経営計画
財務方針について

MEITO CHALLENGE 2029 財務方針

資本コストや株価を意識した経営を一層推進し、
資産活用を通じた成長投資および株主還元を拡大することで、
ROEの継続的な向上とPBRのさらなる改善を図り、持続的な企業価値向上を目指す

～企業価値向上に向けた3つの重点施策～

保有株式の売却によるキャッシュの創出

保有株式の売却を通じて資金を創出し、
成長投資および株主還元の原資として活用する

総額200億円を超える戦略的な大型成長投資の計画

中長期的な成長を支える大型投資および事業基盤強化を進め、
競争力の強化と将来の収益基盤の拡大につなげる

総額100億円を超える株主還元の拡大

次期中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2029」期間中は累進配当を継続し、
自己株式の取得および消却を機動的に実施することで、資本効率および株主価値
の向上を一層推進する

05

Appendix

会社概要



(2025年3月末)

社名	株式会社meito (MEITO CO., LTD.)	
本社	愛知県名古屋市西区笹塚町二丁目41番地	
代表者	代表取締役社長 三矢 益夫	
設立	1945年2月	
資本金	13億3,519万円	
証券コード	2207 (東京証券取引所 プライム市場、名古屋証券取引所 プレミア市場)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 医薬品、医薬部外品、医療用具、動物用医薬品、化粧品、その他化成品の製造及び販売■ 菓子、飲料、調味食品、食品添加物、その他食品の製造及び販売■ ゴルフ場の建設・経営■ 不動産の賃貸■ 前各号に関連及び付随する一切の事業	
主要な連結子会社	株式会社エースベーカーリー (愛知県小牧市)	- バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売
	名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)	- 冷菓の製造・販売
	プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)	- パブリックゴルフ場
	株式会社ピーシーエス (愛知県名古屋市)	- ソフトウェアの開発販売
	株式会社おいもや (静岡県掛川市)	- さつまいも菓子・スイーツの通販等
	株式会社平松商店 (静岡県掛川市)	- 干し芋及び焼き芋の製造販売
持分法適用関連会社	名糖アダムス株式会社 (愛知県清須市)	- チューインガムの製造
従業員数 (2026年3月期末)	連結：639名 単体：397名	

パーパス

「カラダもココロも豊かで楽しい毎日に」

わたしたちはおいしさ・楽しさ・健康を追求し、食品と化粧品を通じて世界中の人々を笑顔にしていきます。

経営基本姿勢

- 1 お客様重視の経営
- 2 迅速、確実な仕事とたゆまぬ創意工夫に基づく独自性のある経営
- 3 人間性を尊重し、能力、意欲を最大限に発揮する活力ある経営

企業行動憲章

1 — 安全・安心で高品質な商品の提供

私たちは、おいしさ、たのしさ、健康を追求し、お客様にとって安全・安心で、高品質な商品やサービスを提供します。

2 — 法令等の遵守と公正・透明な事業活動

私たちは、国内外の法令・社内規則を遵守し、社会的良識をもって行動します。また、自由競争に基づく公正・透明な事業活動を行います。

3 — 社会とのコミュニケーション

私たちは、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を正確かつ公正に適時開示します。

4 — 情報管理

私たちは、業務上知りえた機密情報・個人情報などを厳重に管理し、不正使用は行いません。

5 — 環境保全

私たちは、環境保全・省資源・省エネルギーに取組み、環境にやさしい事業活動を進めます。

6 — 社会貢献

私たちは、よき企業市民として社会の経済・文化発展に貢献します。

7 — 働きやすい職場環境

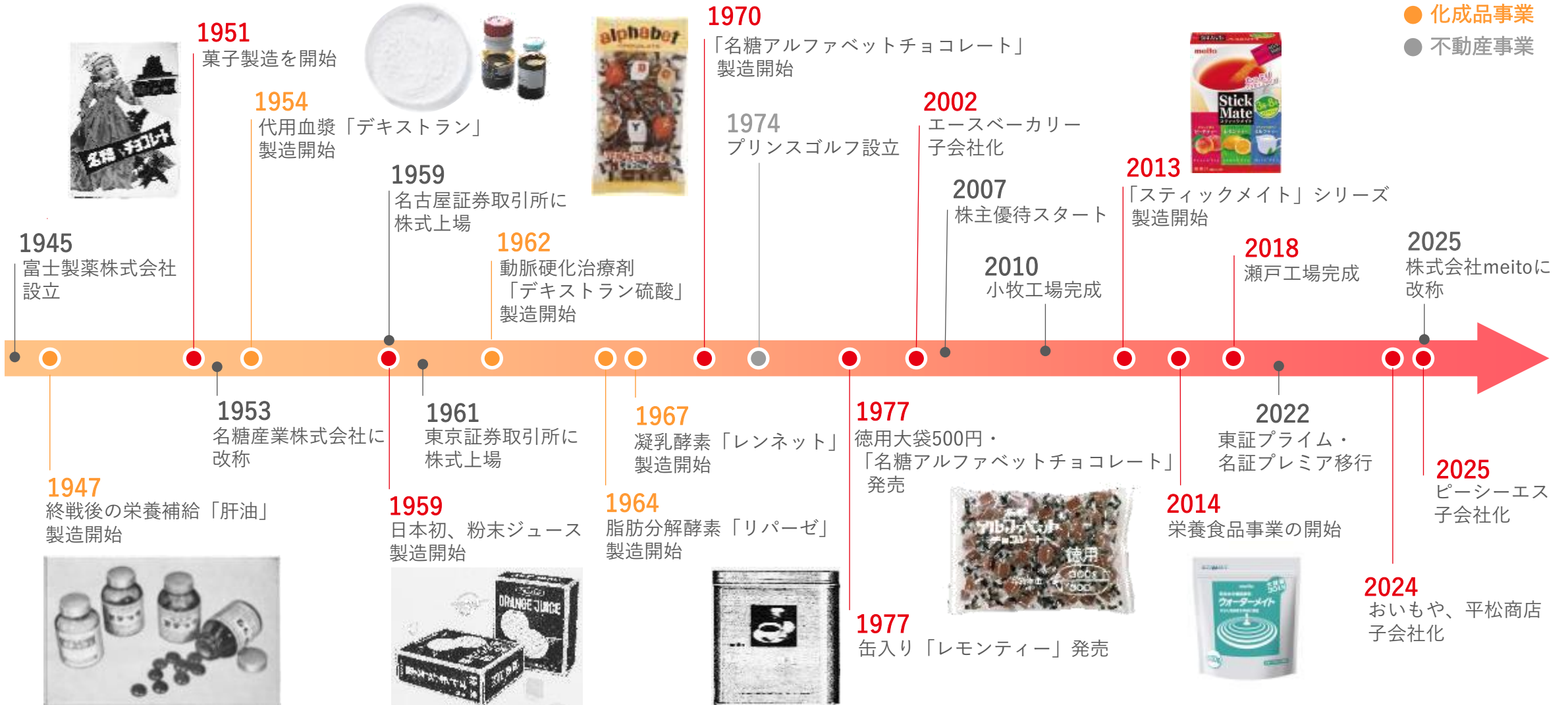
私たちは、人間性を尊重し、健康的で安全な働きやすい職場環境を確保します。

8 — 新しい技術への挑戦

私たちは、常に新しい技術に挑戦し、お客様の満足が得られる商品作りを目指します。

■ 1970年代までに構築した事業基盤を礎に、さらなる飛躍に向けた挑戦へ

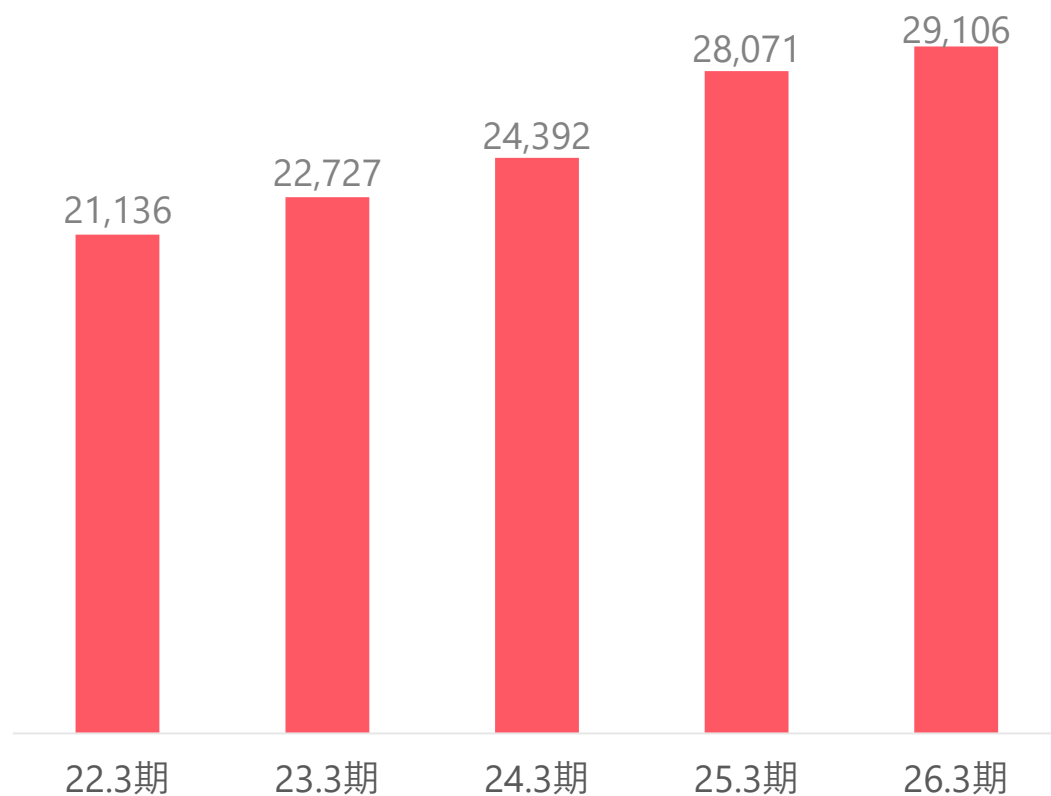
- 食品事業
- 化成品事業
- 不動産事業



原材料高騰等による事業環境の変化に対応し、収益を確保

売上高

(単位：百万円)

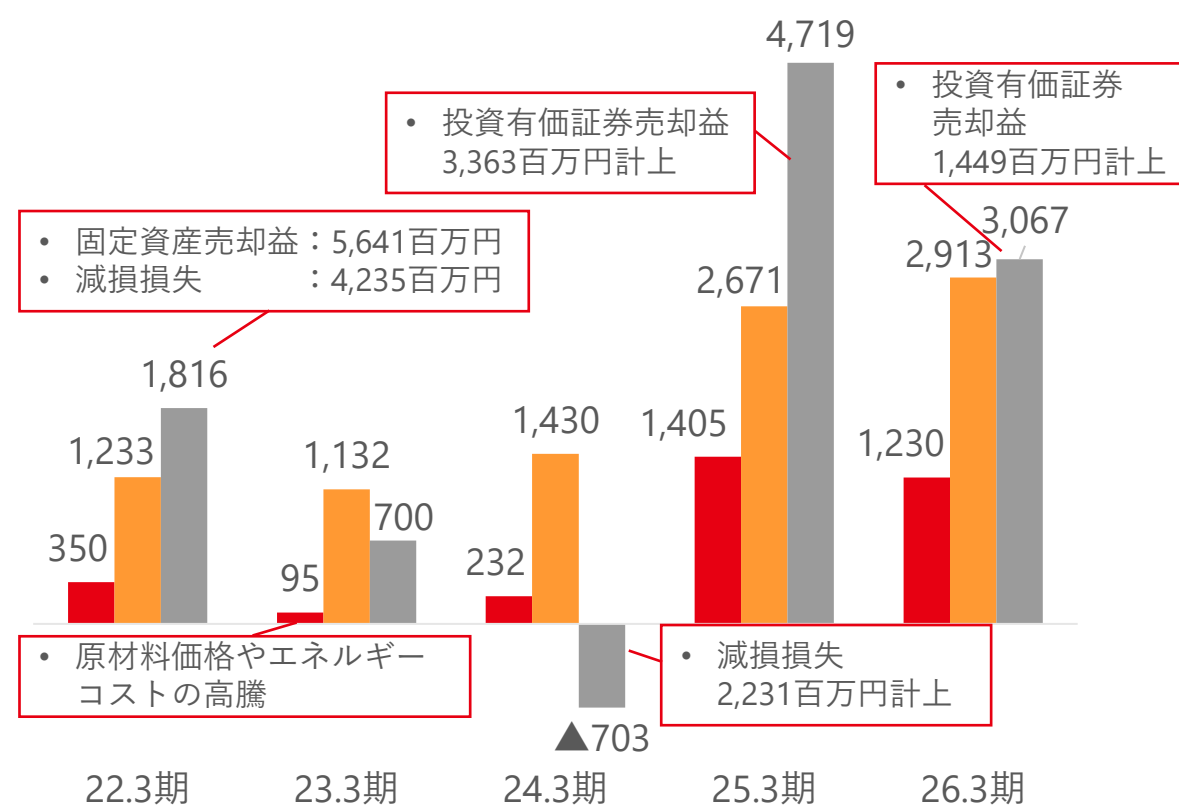


※25.3期より、おいもやと平松商店の売上、利益を含む。

利益

(単位：百万円)

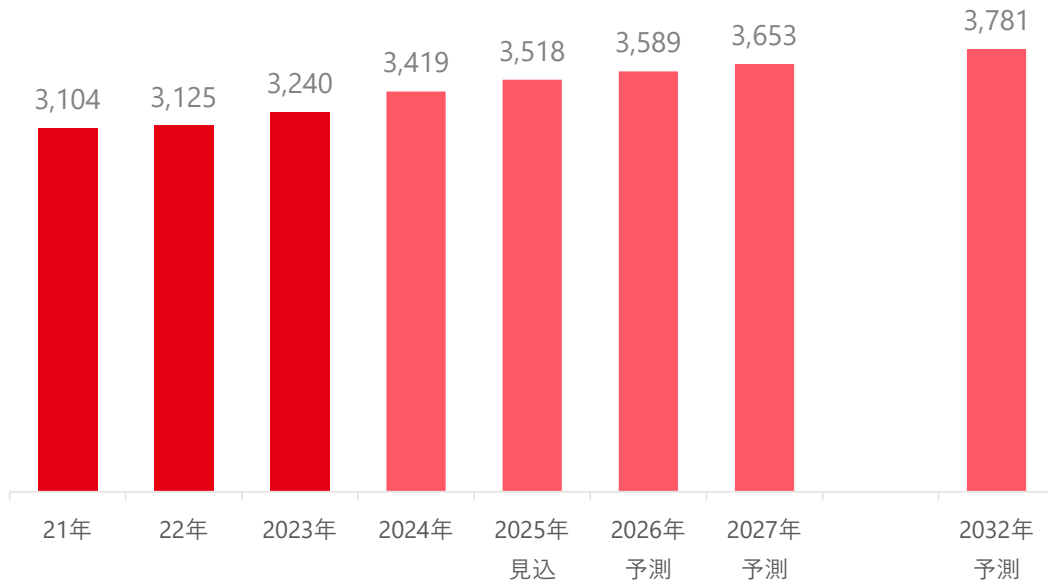
■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



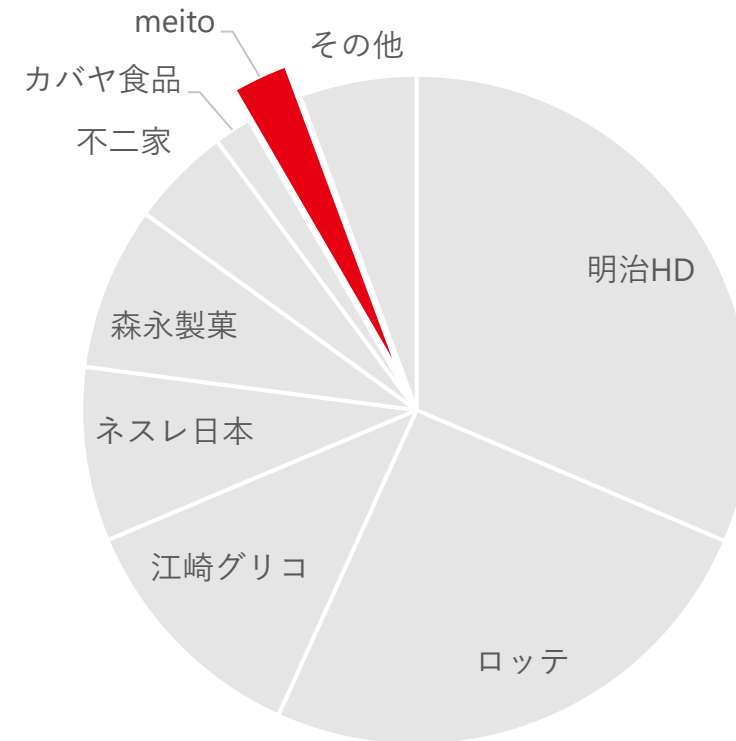
日本のチョコレート市場は2032年に向けて堅調に推移すると予測

日本のチョコレート販売額 (億円)

- 2024年は各社のプロモーションにより販売額は続伸した一方、カカオ豆の高騰により各社が価格改定を実施したことで販売量はマイナス基調から脱せず、販売額との乖離が進んだ。
- 2025年は、インバウンド需要を獲得するとみられるほか、カカオ豆高騰により引き続き価格改定を行っていることから、価格優位性のある商品やプレミアムなど高付加価値商品がけん引する形で販売額は続伸する見込み。



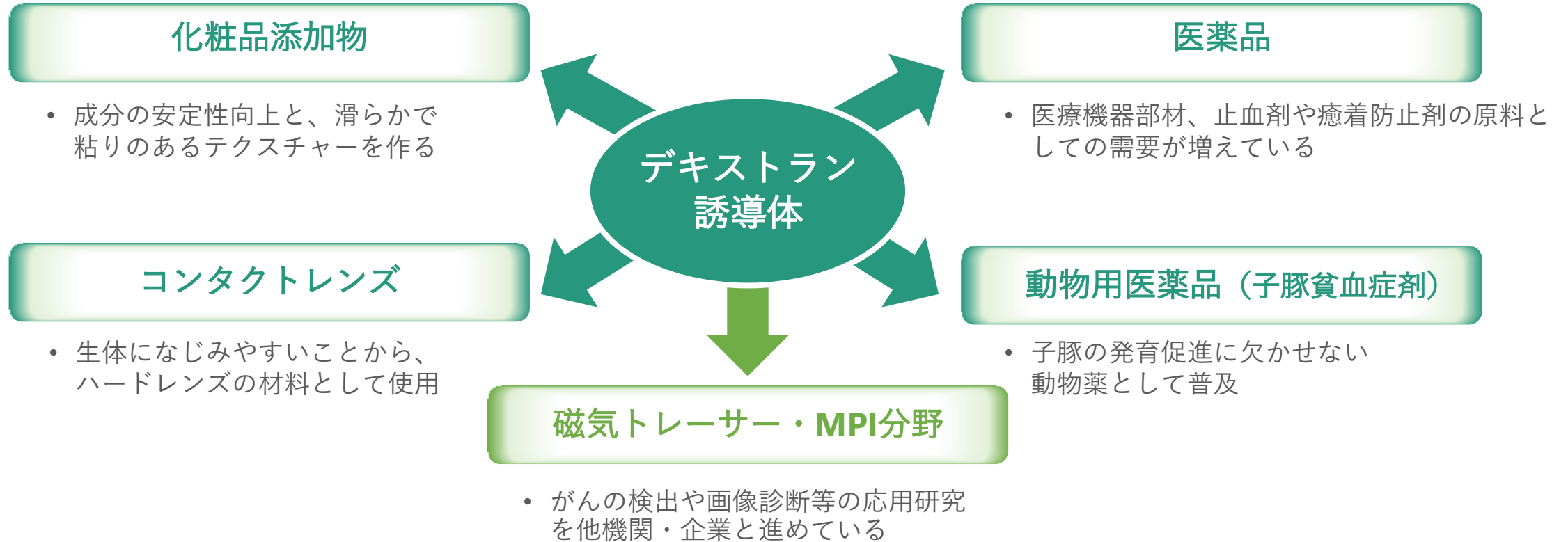
販売額ベースのシェア



出所) 富士経済「2026年 食品マーケティング便覧」より当社作成
 * 販売額はメーカー出荷ベース
 * 他社数値は2025年見込み、当社売上は25.3期実績

■ デキストラン誘導体の用途開発による潜在成長性

デキストラン誘導体の用途開発



■ チョコレートを始めとする食品事業と化成品事業を主力とする

食品事業

菓子部門

- チョコレート類
ファミリーサイズチョコ、エアインチョコ ほか
- キャンディ類
- バウムクーヘン類
- ゼリー類
- 芋菓子類 ほか



粉末飲料部門

- レモンティー
- スティックメイト ほか



冷菓部門

- ひとくちアイス、
ファミリーサイズアイスほか



栄養食品部門

- おいしく健康応援チョコレート ほか

化成品事業

酵素部門

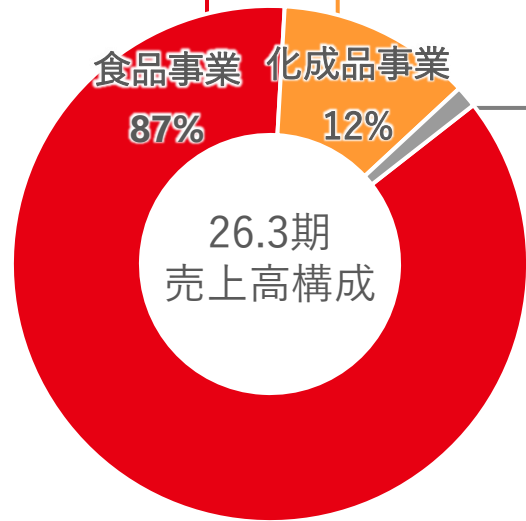
- レンネット
チーズ用凝乳酵素
- リパーゼ
脂肪分解酵素

薬品部門

- デキストラン
血漿増量剤・血流改善剤等
- デキストランマグネタイト
MRI造影剤・医療機器材料等

不動産事業

- ゴルフ場の経営・不動産賃貸



不動産事業
1%

拠点・グループ



■ 全国の営業・生産・研究開発拠点が連携し、meitoの理念を実践

-  本社

-  支店 4カ所











-  化成品営業部

-  研究所／食品開発部 5カ所

-  工場 6カ所

-  主要な子会社 5カ所



- 1  東京支店
- 2  化成品営業部
- 3  東京研究所
 八王子工場
- 4  本社
 食品開発部
 名古屋支店
 名古屋工場
- 5  小牧工場
 エースベーカーリー
- 6  瀬戸工場
 食品開発部
- 7  名古屋研究所
 枇杷島工場
- 8  大阪支店
- 9  福岡支店
 福岡工場
- 10  名糖乳業
- 11  プリンズゴルフ
- 12  おいもや
- 13  平松商店
- 14  ピーシーエス



本社



八王子工場



瀬戸工場



小牧工場



名古屋工場



枇杷島工場



福岡工場

1

先駆的な取り組みにより
構築した事業基盤

2

一貫生産による
こだわりの品質と展開力

3

グローバルニッチトップ

4

3つの事業のバランス経営

当社の特徴・強み① 先駆的な取り組みにより構築した事業基盤

■ 独創とチャレンジが、事業化や業界標準の確立に貢献



デキストランマグネタイトの工場生産開始

- 2001年にはMRI用肝臓造影剤が欧州で認可され商業生産を開始する

1992年



徳用大袋チョコ発売

- 大袋市場の嚆矢となる

1977年

微生物レンネットを世界で初めて開発

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネット



1964年

粉末ジュースを発売

- 砂糖に果汁、酸味料、香料、着色料を配合した画期的な商品



1959年

中身の見える個別「捻り包装」

- 時代を先取りし、製菓業界に包装革命を起こす



代用血漿デキストラン工業化に成功

- 原薬、医薬品・食品添加物、化粧品、工業用途など幅広く展開



1953年

当社の特徴・強み② 一貫生産によるこだわりの品質と展開力

meito

- 口溶けや滑らかさの食感、味づくりの決め手となる生地で差別化



一次加工から、こだわりの一貫生産

一貫生産
ならではの
展開力により、
開発に成功

- 気泡を混ぜたチョコレート「エアインチョコ」



- チョコレートの技術を生かした「栄養食品」

低GI*の糖質「還元麦芽糖」を主原料としたチョコレート



*GI：食後血糖値の上昇度合

当社の特徴・強み③ グローバルニッチトップ

meito

- 世界屈指のメーカーとして、成長軌道を歩む化成品事業



デキストラン デキストラン誘導体

 日本初

- 代用血漿デキストラン・MRI造影剤用途としてのデキストランマグネタイトの**工業生産**に成功

 日本唯一

- **大規模**な工業生産



チーズ用凝乳酵素 微生物レンネット

 世界初

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネットを**開発**

 世界唯一

- 動物レンネットと同等品質の次世代微生物レンネットを**開発**



脂質関連酵素 リパーゼ・ホスホリパーゼ

 日本初

- 日本で初めてリパーゼの大規模な**工業生産**を開始

 日本唯一

- ホスファチジルセリン*向けのホスホリパーゼDを**工業生産**

*ホスファチジルセリン：脳機能改善やストレス対策のサプリメント

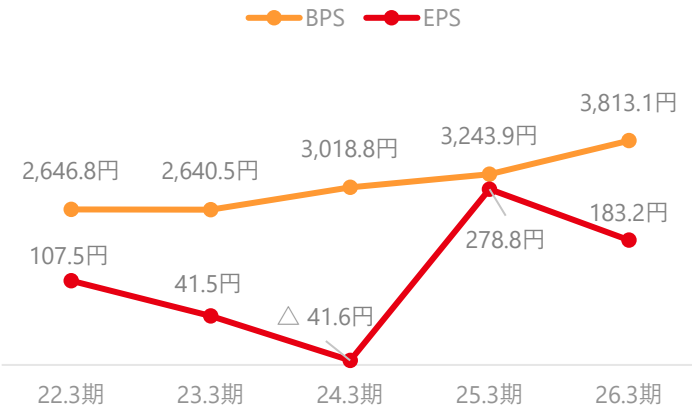
当社の特徴・強み④ 3つの事業のバランス経営

- 事業領域が異なる3つのセグメントが補完し合い、景気変動の影響を回避した安定利益を確保

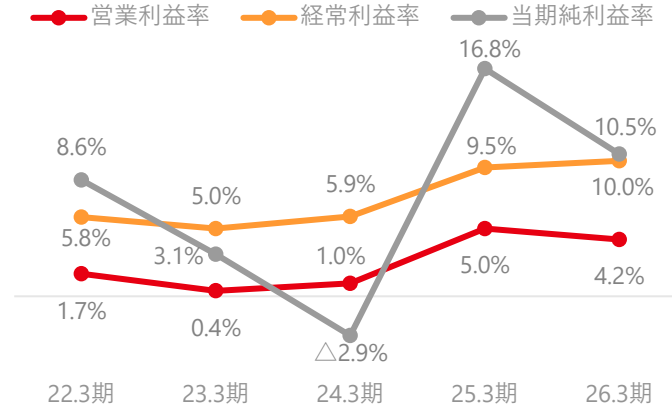


* 調整額1,003百万円を除く

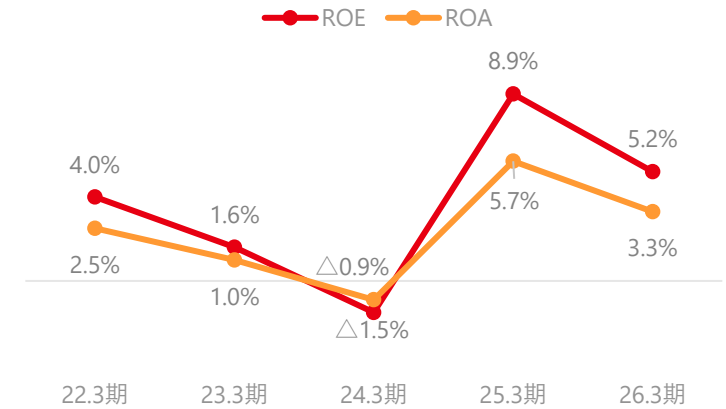
EPS・BPS (単位：円)



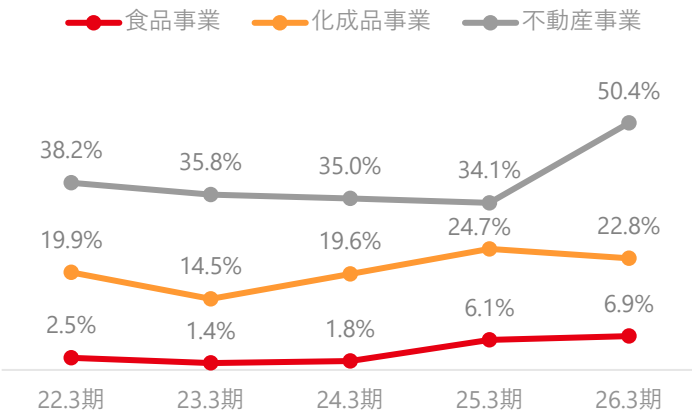
利益率 (単位：%)



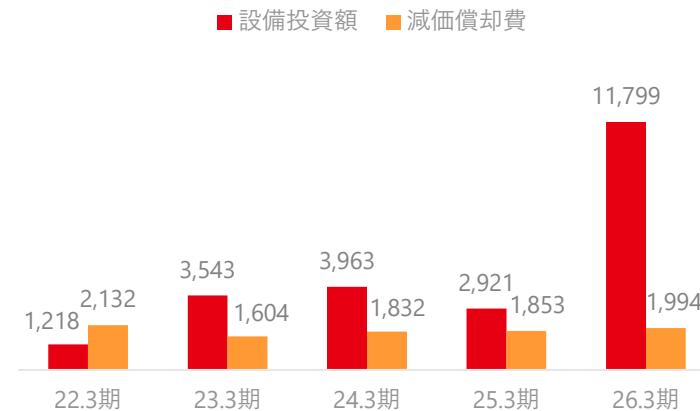
ROE・ROA (単位：%)



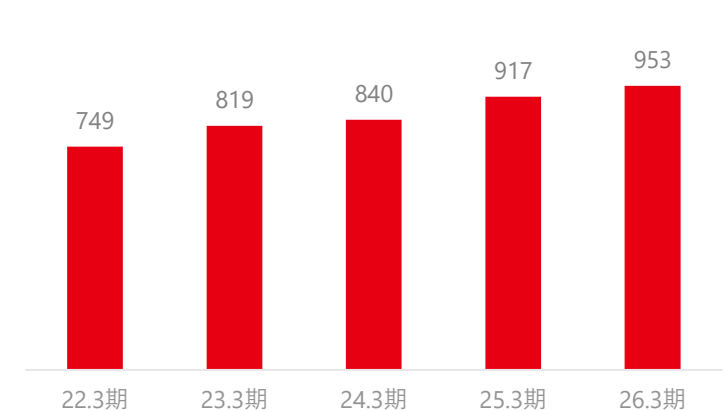
セグメント利益率 (単位：%)



設備投資額・減価償却費 (単位：百万円)



研究開発費 (単位：百万円)



各マテリアリティに対する取り組み

環境負荷削減



<共通>

- ・省エネ設備への更新
- ・環境に配慮した商品設計
- ・社内書類・提出資料の電子化、ペーパーレス化推進継続
- ・省エネ診断を活用した省エネルギー対策

<食品事業>

- ・包装材料におけるプラスチックおよび紙の使用量の削減
- ・食品工場での食品残渣の削減
- ・フードロス削減に取り組む企業と取引開始

<化成品事業>

- ・廃棄物の有効活用



福岡工場 冷凍機設備更新
(省エネ)



空調機吸排気ファン更新
(省エネ)

食の安全安心



<食品事業>

- ・FSSC22000の運用による品質維持
- ・「おいしさ、たのしさ、健康」を追求した商品の開発
- ・食品の安全や品質文化の醸成の活動

<化成品事業>

- ・FSSC22000・医薬品および医薬部外品の製造管理および品質管理規則（GMP）の認証維持
- ・ハラール（イスラム教）、コーシャ（ユダヤ教）の認証維持

健康貢献目標

健康とおいしさを両立して、お客様のお困りごとを解決した新商品を2025年度から2030年度までに5品以上発売



おいしく健康応援
カフェオレ
(健康貢献)



おいしく健康応援
のど飴ブルーベリー
(健康貢献)

各マテリアリティに対する取り組み

人権・ダイバーシティの推進



<共通>

- ・ダイバーシティフォーラムの開催
- ・男性育児休業取得のための社内制度活用の推進
- ・障がい者雇用の推進
- ・eラーニングによるハラスメントの全社員教育



ロールモデル座談会の様子
(2025年3月対面・Web開催)

社会貢献活動



<共通>

- ・「人道支援機関の運営支援のため、国連 WFP (World Food Programme) 協会の評議会に入会
- ・名古屋市西区に本社のある菓子会社5社で昨年に引き続きハロウィンイベントを開催
- ・共同募金会を通じて児童養護施設などへのチョコレート寄贈
- ・フードバンクへの商品寄贈
- ・子ども食堂支援のため、イベントの企画・運営を実施

カカオ豆の生産地支援の取り組み



ガーナの小学校への学用品の寄付活動

ガバナンス



<共通>

- ・取締役会の定期開催 (2024年度は8回開催)
- ・指名・報酬委員会の定期開催 (2024年度は4回開催)
- ・コンプライアンス委員会の定期開催 (2024年度は1回開催)
- ・サステナビリティ推進委員会の定期開催 (2024年度は2回開催)

商号変更とガバナンス強化の取り組み

- 商号 (社名) 変更

株式会社 **meito** (旧社名：名糖産業株式会社)

- パーパス制定

カラダもココロも
豊かで楽しい毎日に

わたしたちはおいしさ・たのしさ・健康を追求し、
食品と化成品を通じて世界中の人々を笑顔にしていきます。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

株式会社meito IR担当
E-mail: ir@meito-abc.co.jp